

学生が研究!!

港町寺泊の歴史的町並み

～残存状況とデザイン～

寺泊は近世、北前船の寄港地や佐渡への渡海港、北国街道の宿場町として多くの機能、役割を担ってきた歴史を持ち、現在も海岸地域の街道沿いには、妻入りの町屋が残っている貴重な地域です。

このような古くから残る伝統的な様式を持つ町並みは、地域の特徴を示す歴史的・文化的資産です。

一方で、現在は住み手の不在による空家化や老朽化などの問題も抱えています。

今後のまちづくりの一助となるため、寺泊の町屋の残存状況や特徴的なデザインなどについて、新潟大学大学院の学生が講演を行います。

日時:平成28年2月21日(日)

午後1時30分～3時(予定)

(午後1時開場)

会場:寺泊文化センター

2階 視聴覚室 ※入場無料

講師:新潟大学 都市計画研究室

上村 将祐さん

定員:40名

(当日参加も可能ですが、資料はありません。)

申込期限:平成28年2月17日(水)

申込み・問合せ:

寺泊公民館(寺泊支所地域振興課内)

TEL 0258-75-3111/FAX 0258-75-2238